

相模人形芝居

林座



< 演 目 >

さんばそう
三番叟
けいせいあわなると
傾城阿波の鳴門
じゅんれいうた だん
巡礼唄の段

平成 30 年 10 月 28 日 (日) 13:30~

秋のひとつとき・・・国の重要無形文化財である伝統芸能に触れてみませんか？

厚木市林地区「林座」のみなさんが心ひとつに熱演してくださいます。公演後、人形に触れる体験コーナーも設けました。

是非、ご家族でお越しください！！！！

場所：小出コミュニティセンター大会議室

出演：相模人形芝居「林座」のみなさん

定員：100 名

申込：9 月 20 日 (木) 10:30~ 電話又は来館で

入場
無料

相模人形芝居は、神奈川県西部地域に伝わる民俗芸能で、江戸時代の中～後期に淡路や阿波の人形遣いによって伝えられた。農閑期などに民衆の間で演じられ、特に青年たちがこぞって芸を磨き継承してきた。淡路や大阪の文楽人形と同じように一つの人形を3人が心を合わせて、生きているように操るのが特徴である。現在は厚木市の林座、長谷座、小田原市の下中座、平塚市の前鳥座、南足柄市の足柄座が活動している。

主催&問合せ：小出地区コミュニティセンター管理運営委員会

TEL. 0467-54-6525